

使いやすさの追求から生まれたニューデザインと機能

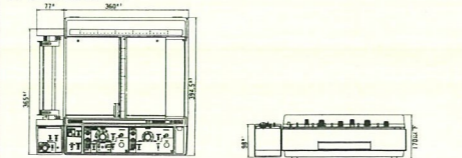
NEW X-Yレコーダ

A4判 高感度型VP-6415A・標準型VP-6414A

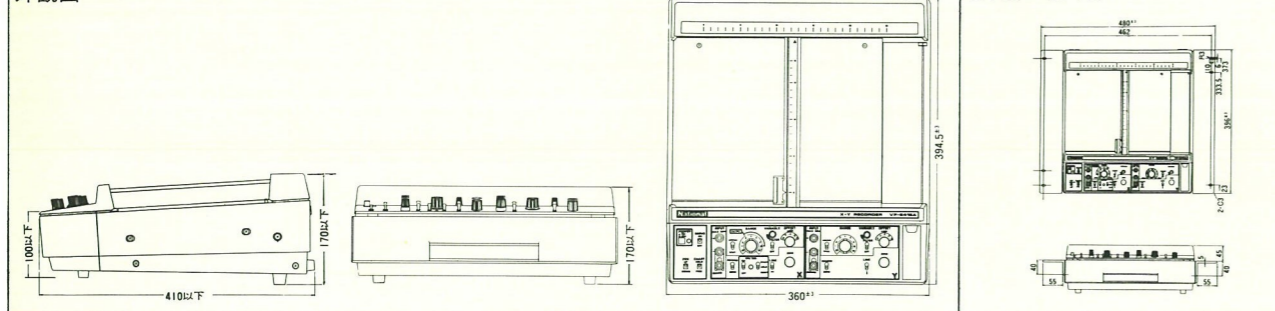
●仕様

		高感度型VP-6415A	標準型VP-6414A
記録方式		カートリッジ式フェルトペン(見えるサインペン) 標準 赤色(VQ-061H10)、オプション(青)VQ-061H20 (緑)VQ-061H30	
有効記録幅		A4判、X軸:250mm以上、Y軸:180mm以上	
ペン速度		Y軸:1300mm/秒、X軸:900mm/秒	
ペンリフト応答性		5Hz以下	
回路方式		DCサーボ方式	
入力レンジ	固定レンジ	0.05、0.1、0.2、0.5、1、2、5 10、20mV&V/cm、18レンジ	2、5、10、20、50mV/cm 0.1、0.2、0.5、1V/cm、9レンジ
	バリエーション機能	2.5倍以上(全レンジ間)	
入力オフセット		0~400%フルスケール	なし
入力形式		ガードシールドアースフローティング	
入力抵抗		1MΩ一定	
許容信号源抵抗		10kΩ以下	
精度		基準レンジにおいて±0.25%フルスケール、レンジ間誤差±0.25%フルスケール	
直線性	帯	±0.1%フルスケール以下	
	不	±0.1%フルスケール以下	
耐誘導雑音性	AC CMRR	140dB以下	100dB以下
	DC CMRR	120dB以上	80dB以下
	NMRR	40dB以上(フィルターON時)	
零点移動範囲		0~+100%フルスケール以上	
タイムベース	レンジ	0.5、1、2、5、10秒/cm 5レンジ	
	直線性	±2%フルスケール以下 ±1%フルスケール以下	
記録紙保持		静電吸着方式(基準光点位置合わせ付)	
記録紙		標準…A4市販記録紙、オプション…専用記録紙VQ-060M、ロール紙VQ-060Z	
リモートコントロール	ペンアップダウン	TTL信号又は接点ドライブ(LO又はONでダウン)	
	タイムベーススタート	TTL信号又は接点ドライブ(LO又はONでスタート)	
	タイムベースリセット	TTL信号又は接点ドライブ(LO又はONでリセット)	
	X軸・Y軸 リアインプット	付	
電源		AC100、115、220、240V±10% MAX250V 50/60Hz	
消費電力		平衡時約30VA、不平衡時約80VA	
大きさ・重さ		幅360mm×高さ170mm×奥行410mm 約9kg	
環境条件		5°~40°C、湿度30~80%	
付属品		記録紙…1冊、ビニールカバー…1、ペンVQ-061H10…5本、外部コントロールコネクタ…1、絹布…1枚、ヒューズ…1本、取扱説明書…1冊	
オプション		1. 巻き取り装置(VP-0640A) 2. 防塵アクリルカバー 3. ラックアングル 4. スタンド	

A4判X-Y用巻き取り装置(VP-0640A・オプション)

送り方式	パルスモーター送り方式	●巻き取り装置付
記録紙	ロール紙VQ-060Z.15m	
記録紙送り速度	60、30、15、6、3、1.5cm/分又は時13レンジ、Ext含む	
リバーシスイッチ	付	
リモートコントロール	チャートスピード	TTLパルス
	スタート・ストップ	TTL信号又は接点ドライブ可(LO又はONでスタート)
大きさ・重さ		幅77mm×高さ98mm×奥行365mm 約1.6kg
電源		DC12V±10%(本体より供給) 約5.3VA

外観図



●本カタログ記載の、仕様、デザイン、寸法、価格等は規格改善のため予告なく変更させていただきますことがあります。

前記の先取りの機能を標準オプションとして



松下電器

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 電子計測事業部
〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話(045)531-1231(大代表)

- Y軸1,300mm/秒、X軸900mm/秒の高速記録
- 新開発、インク量がわかる「見えるサインペン」
- 5回/秒の高速打点
- 小型・軽量化(約9kg)

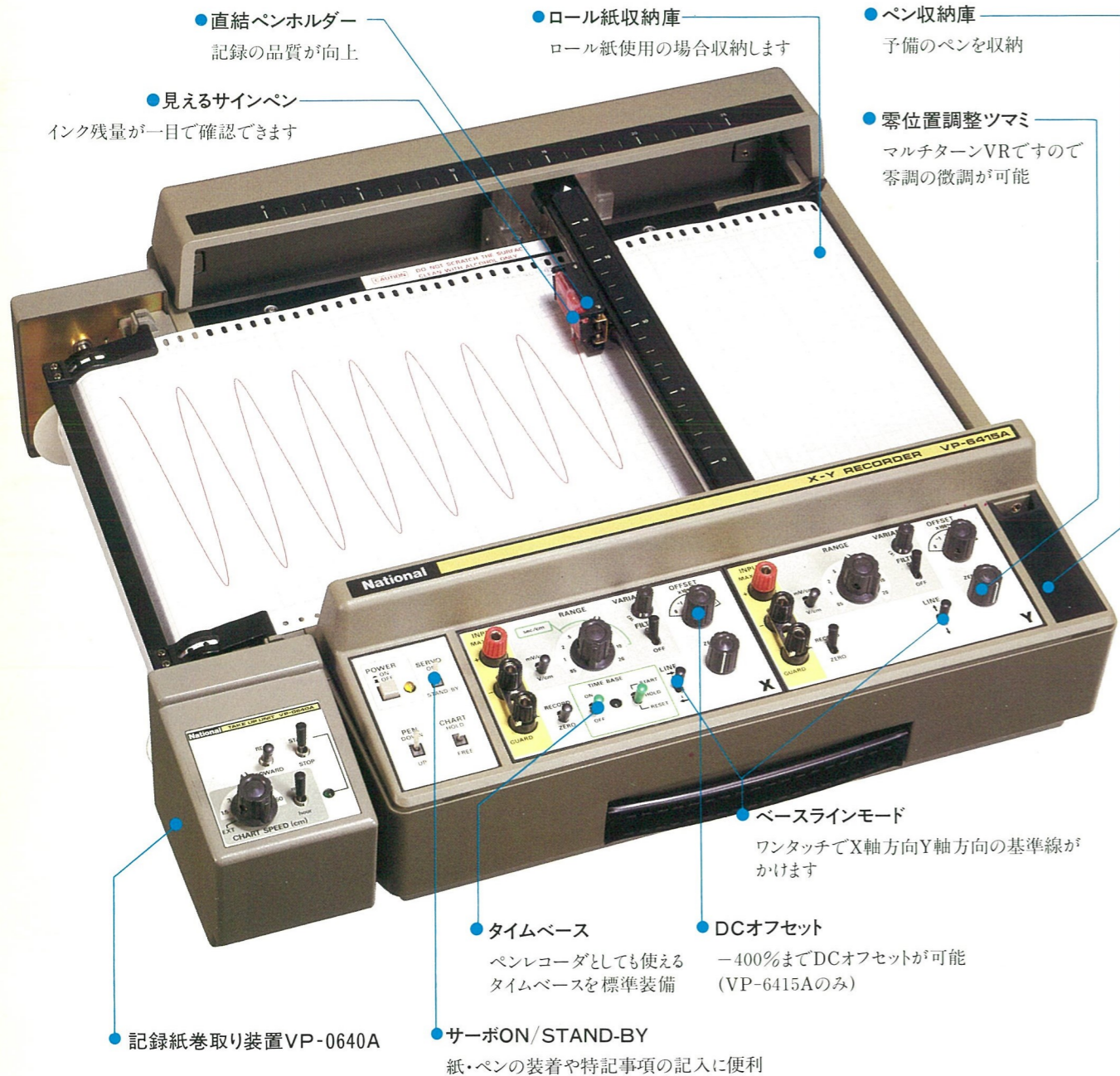
RECORDER



つかいやすさを徹底追求した機能・性能。

X-Yレコーダの使いやすさと記録の精度を追求して、広く国際市場に実績を持つナショナルのレコーダ技術を総結集。いま、X-Yレコーダはより忠実に、機能的に生れ変わりました。お客様本位のX-Yレコーダとして、数かずの優れた機能と性能を備えています。

- 新開発、インクの量がわかる「見えるサインペン」
- 基準軸がワンタッチでかけるベースラインモード機能

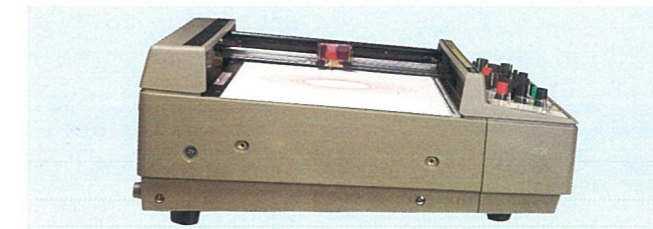


- タイムベース及び各種リモートコントロール機能の標準装備
- 高速ペン応答でより広い用途に対応
- 一段と充実したX-Yレコーダ、OAユースにもフィットするフレッシュデザイン。単体あるいは、周辺機器との組み合わせで力を発揮します。

より広い用途に応えるNEW X-Yレコーダ。

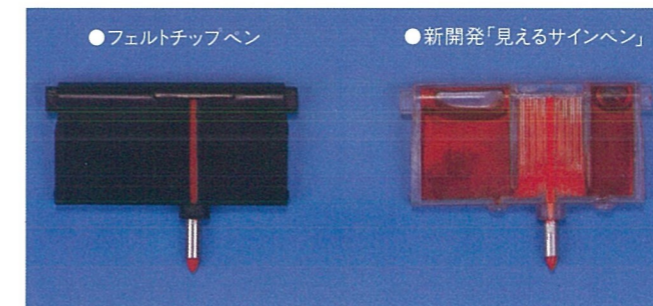
操作性に優れた、ニューデザイン

人間工学設計に基づいた、新感覚のデザインを採用。データが見やすく、書き込みやすい前面傾斜角度付、操作部は全て前面配置、ペン収納庫などにより一段と操作性が向上。さらに、小型・軽量化(約9kg)や周辺機器との調和も実現しました。



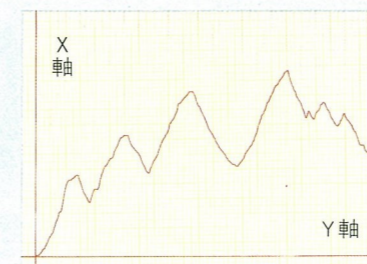
インク残量が一目でわかる新開発「見えるサインペン」を採用

インク残量が見えなかったフェルトペン。この不安を一気に解消したのが新開発の「見えるサインペン」です。インクの残量が一目で確認できますので、データ収集中のインク切れも未然に防ぐことができます。



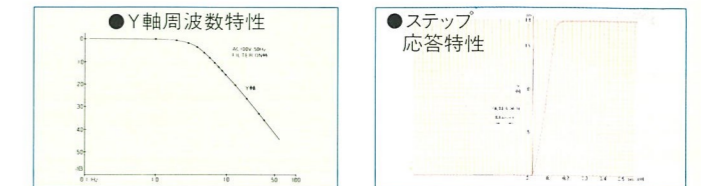
ワンタッチで基準ラインがかかるベースラインモード機能

従来、基準線をかきためには、POSITIONツマミ、あるいは、タイムベースを利用するなど、わずらわしい操作を必要としていました。ベースラインモード機能により、X軸、Y軸ともワンタッチで基準ラインがかかけ一段と作業の能率を高めます。



Y軸1,300mm/秒、X軸900mm/秒の高速性能でより忠実な記録を実現します

特性の優れた大出力DCモータや可動メカニズムの大幅な改良など、トータルコンビネーションにより、Y軸1,300mm/秒、X軸900mm/秒の高速記録を実現。より速い信号にも鋭敏に追従します。



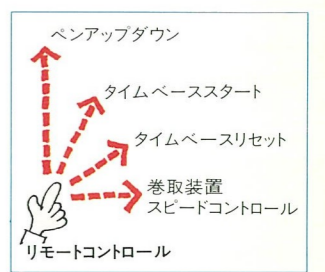
ペンレコーダとしても使えるタイムベースを標準装備

X軸方向に時間送り機能として、タイムベース部(0.5~10秒/cm)を標準装備。X-Yレコーダとしてだけでなく、ペンレコーダとしてのY-T記録も可能になり、より広い用途にお応えします。



システムアップを可能にする外部コントロール機能を標準装備

ペンのアップダウンやタイムベースのスタート、あるいはリセット、さらに巻き取り装置のスピードコントロール、スタート・ストップなどがTTLレベル信号で外部制御できる豊富なリモートコントロール機能を標準装備。各種機器とのシステムアップが容易になりました。



過大入力から可動メカニズムを護る電子リミットと耐環境特性にすぐれたCPPを採用

新開発の電子リミットは過大入力や連続したオーバースケールに対し瞬時にパワーダウン。メカ的な衝突現象もなく、記録計の心臓部であるサーボモータや可動メカニズムを保護し長期にわたって安定したメカ精度を保ちます。また、ポテンシオメータは粉塵などの耐環境特性のすぐれたCPP(導電性プラスチックポテンシオメータ)を採用しています。

5回/秒の高速打点スピードで端末機として力を発揮

「記録時間の短縮」あるいは「高速で忠実な記録」をテーマにNEWシリーズでは、5回/秒の高速打点スピード(ペン、アップ・ダウン)を達成。特に各種計測機器や制御器などの出力端末としてその力を発揮します。また、ペンリフトを垂直動作するなどペンの位置ぎめも容易になりました。